

特養だより 2・3月号

節分シク

鬼は外～♪福は内～♪ 鬼に扮した職員が登場し、紅白玉を投げ入れて鬼退治をしました。今年もたくさんの福が来ますように！



「未経験からの介護の一步」

初任者研修終了 SHOJI

令和6年6月に入職し、8か月が経ちました。大学を卒業後、28年間勤務したスポーツ用品メーカーの営業職から初めての異業種への転職。未経験で介護の世界に飛び込みました。高校時代に認知症の祖母と同居し、近年、実父と義父を看取りましたが直接的に介護をした経験はありませんでした。

福祉の仕事に就くきっかけは自閉症の息子の存在が大きいです。幼少期から様々な福祉関係者に大変お世話になり、息子も家族も救われてきました。50歳の節目で自分の人生を考えた時、救われた御恩をお返し、より人に携わり人に喜んでもらえる介護の仕事をしてみたいと考えました。

最初の1ヶ月は本当に何もわからず、初めての事ばかりでとても戸惑いました。7月には「介護初任者研修」を受講し、介護の基本を学びながら利用者様の状態、仕事の内容を覚えていきましたが数ヶ月間は体力的にとっても厳しかったです。介護技術が不足しており、腰痛で痛み止めも服用しました。介護の現場は想像より大変なものでした。しかしその反面、ご利用者みなさんの笑顔や元気さに力をもらい、同僚職員からは、多くの親切なアドバイスをもらいました。介護の仕事は自分の性格に合っており、充実したやりがいのある仕事をしていると実感しています。安立園には独特なカラーがあります。慌ただしい時間が多いですが、他の施設の見学では感じられなかったアットホームな雰囲気と優しい職員の皆さん、そしてご利用者の笑顔です。素晴らしい「ひと」が安立園を創っています。この職場で、この仕事に就くことが出来てとても感謝しています。まだまだ最初の一步を踏み出したばかりですが、日々勉強し自分自身が豊かな持ちになれるよう努めていきます。今後ともよろしくお願い致します。

